# 施 策 評 価 シ ー ト

## 1 総合計画上の位置づけ

担当課： 商工課

| 施策名 | 19 工業 |
|---|---|
| 政策名 | 「まち」に活力を生む |
| 施策がめざす将来の姿 | ・既存産業の経営力や競争力が向上するとともに、新たな産業が振興するなど、活発な企業活動が行われています。 |
| | 0 |

## ③ 施策評価指標

| 成果指標名 | 単位 | 後期当初値 | 令和９年度目標 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ビジネスプラス展でのビジネスマッチング数 | 件 | 83 | 100 | | |
| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | 61 | 64 | 71 | | |

| 成果指標名 | 単位 | 後期当初値 | 令和９年度目標 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工場等設置奨励金交付企業数 | 社 | 34 | 50 | | |
| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | 25 | 29 | 30 | | |

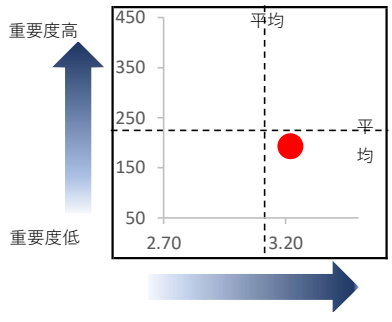
## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

| **重要度**／単位（人） |
|---|
| **令和7年度** |
| 193 |

| **満足度**（満足している市民の割合）／単位（%） | | |
|---|---|---|
| 令和6年度 | | **令和7年度** |
| 91.1 | → | 93.4 |

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）




## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

製造現場において熟練工の高齢化による技術、技能の伝承に対する支援を多角的に取り組む必要があります。
デジタルトランスフォーメーションやカーボンニュートラルへの対応のほか、人材不足問題など製造工場における環境の変化に中小企業者が対応し成長できるよう、各種の補助制度により支援することで本市のものづくりの振興を図ります。
また、原材料やエネルギー高騰、人件費の高騰に加え、中東情勢不安など外的要因による経済不安の影響などに注視し、地域経済の活性化策を検討します。

## 5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：産業振興事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 11,552 | 刃物セミナー | → | ↗ | 刃物セミナーの実施内容を検討し、啓発すべき対象、内容を整理します。 | |
| | | | | | |

事務事業②：企業競争力強化支援事業

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 90,364 | 関の工場参観日 | ↗ | ↗ | 関の工場参観日はコンテンツの質の向上、事業者間の交流促進、学校のキャリア教育などを行い、認知度向上、来場者数の増加を図ります。また企業競争力強化支援では、DXセミナーの受講からDX導入の流れを支援します。 | ○ |
| | 競争力強化支援 | ↘ | ↗ | | |

事務事業③：企業誘致事業（工場誘致対策）

| R7決算額（千円） | 重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで） | 方向性 | | 事務事業の今後の方向性 | 重点化 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業費 | 成果 | | |
| 152,394 | 企業立地促進奨励金 | → | ↗ | 新規企業立地の案件情報の取得や、奨励制度の周知に引き続き努め、企業誘致を促進します。 | ○ |